



[準グランプリ]

日本一ブリの生産地 瀬涯 憲市（出水市）

[準グランプリ]

中味は島美人 久永 莊六（さつま町）



伊唐大橋の光も実にうまくとらえた作品」と講評。木之元さんは「今回の作品はフラッシュの使いかたなど工夫した」と話しました。

準グランプリの1作品目は、針尾公園から日本有数のブリの産地である薄井漁港周辺を写し、養殖場やそこに忙しく働く漁船、その先には天草の島々が見え、色のバランスなどが評価された瀬涯憲市さん（出水市）の「日本一ブリの生産地」が選ばれました。

2作品目は、昨年の秋開催された第14回ながしま造形美術展会場に展示してある造形物を写し、黒じょかと後ろで酒を飲む人形の構図がおもしろいと評価された久永莊六さん（さつま町）の「中味は島美人」が選ばれました。

このほか入賞した17作品には、長島ならではの海や橋に風車、ツルの北帰行や夕日、産業など身近にある素材を生かした作品が選ばれました。

今回入賞した20作品は、今後町のイベント会場などで展示する計画です。